

第16回日本病態プロテアーゼ学会学術集会

〈一般演題募集中〉
演題応募〆切 平成23年 5月 30日(月)
応募案内 <http://jspp.kenkyuukai.jp/>

学術集会長：木曾良明(長浜バイオ大学ペプチド科学研究室 客員教授)

会 期：平成23年8月26日(金)・27日(土)

会 場：千里ライフサイエンスセンター(大阪, 豊中市)

学会参加費：会員2,000円 非会員5,000円 学生無料

連 絡 先：〒634-8522 橿原市四条町840 奈良県立医科大学産婦人科学教室内

TEL：0744-29-8877 FAX：0744-23-6557 E-mail：cpit@naramed-u.ac.jp

8月26日(金) 11:50～開会式12:00～講演会

◆特別講演「化学生態学とタンパク毒」

上村大輔(神奈川大学理学部化学科 教授)

◆教育講演「日本人2型糖尿病において食後血糖上昇の意味するところ」

武田 純(岐阜大学大学院医学系研究科 内分泌代謝病態学 教授)

◆基調講演「考える腸、働く脾胃臓器・細胞連関から見直す、2型糖尿病の成り立ちとその対策」

難波光義(兵庫医科大学内科学糖尿病科 主任教授)

◆シンポジウム『糖尿病(2型)の新しい治療法とプロテアーゼとその阻害剤』

はじめに：オーガナイザーより

永津俊治(藤田保健衛生大学)；DPP-IV/CD26の発見の歴史と糖尿病薬創薬：serendipitous discovery

池原征夫(福岡大学)；DPP-IV/CD26の生化学分子生物学

・「インクレチンの生理作用」

山田祐一郎(秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学 教授)

・「DPP-IV阻害薬の心血管に対する作用」

綿田裕孝(順天堂大学大学院医学系研究科 代謝内分泌内科学 教授)

・「DPP-IV阻害薬の糖尿病治療としての展望と問題点」

寺内康夫(横浜市立大学大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学 教授)

◆一般ポスター講演

8月27日(土) 9:00～講演会

◆会長講演「ペプチド化学を基盤とする創薬科学研究：難病克服をめざして」

木曾良明(長浜バイオ大学ペプチド科学研究室 客員教授)

◆ワークショップ『ホットトピックス2011』

オーガナイザー 井上紳太郎((株)カネボウ化粧品)

中島 元夫(SBIアラプロモ(株))

・「C型肝炎ウイルスNS3-4Aプロテアーゼ阻害剤テラプレビルの研究開発」

神谷直洋(田辺三菱製薬(株)研究本部薬理第一研究所 薬理第一部 主任研究員)

・「Protease-activated receptor (PAR) の生理的・病態生理学的役割」

川畑篤史(近畿大学薬学部病態薬理学研究室 教授)

・「トロンボモジュリンの基礎から臨床まで」

鈴木宏治(鈴鹿医療科学大学薬学部 教授)

・「光老化および自然老化皮膚における線維芽細胞エラスターゼの役割

—活性本体中性エンドペプチダーゼの同定とその調節機構の解明—」

森崎尚子(花王(株)生物科学研究所 主任研究員)

◆“Young Investigator's Award of JSPP 2011” 選考結果発表